

1 ハルニレ・カツラ

1. 樹種名・本数	ハルニレ・1本　カツラ・1本
2. 指定理由など	訓小グラウンド東、北側にそびえ立ち、いずれも樹齢 250 年以上の原生木。古くから町民に親しまれ、特に訓子府小学校卒業生にとっては、思い出深いものとなっている。
3. 位　　置	訓子府町仲町 64・65 番地
4. 所　有　者	訓子府町
5. 指定年月日	昭和 60 年 10 月 1 日
6. 指　定　者	訓子府町教育委員会

2 カシワ

1. 樹種名・本数	カシワ・1本
2. 指定理由など	樹齢およそ 150 年、200 年の原生木で、穂波会館南のスポーツ広場にあり、夏は木陰をつくることなどから、穂波地域の人達に特に親しまれている。
3. 位　　置	訓子府町字穂波 293 番地 3
4. 所　有　者	訓子府町
5. 指定年月日	昭和 60 年 10 月 1 日
6. 指　定　者	訓子府町教育委員会

3 イチョウ

1. 樹種名・本数	イチョウ・1本
2. 指定理由など	昭和 16 年の町内字名改正時に、記念植樹されたもの。イチョウは中国が原産で、日本でも古くから寺の境内などに植えられた。木は強健で、公園樹、街路樹として日本各地にみられる。
3. 位　　置	訓子府町字柏丘 572 番地
4. 所　有　者	柏丘農事実践会
5. 指定年月日	昭和 60 年 10 月 1 日
6. 指　定　者	訓子府町教育委員会

4

ヨーロッパアカマツ

- | | |
|-----------|---|
| 1. 樹種名・本数 | ヨーロッパアカマツ・2本 |
| 2. 指定理由など | 緑丘地区の開拓期に、火入れなどによって山火事が多く発生した。このため、火の神様である秋葉神社を奉納した時に植樹されたもの。ヨーロッパアカマツは、ヨーロッパからシベリア一帯に広く分布している。 |
| 3. 位 置 | 訓子府町字緑丘 87 番地 |
| 4. 所 有 者 | 緑丘農事実践会 |
| 5. 指定年月日 | 昭和 60 年 10 月 1 日 |
| 6. 指 定 者 | 訓子府町教育委員会 |

5

カシワ

- | | |
|-----------|--|
| 1. 樹種名・本数 | カシワ・3本 |
| 2. 指定理由など | 胸高直径 60 センチメートルを超えるものもあり、いずれも原生木。カシワは、日本各地、南千島、朝鮮半島、中国に分布する。樹皮が厚いことから、山火事に強いといわれている。 |
| 3. 位 置 | 訓子府町字実郷 246 番地 33 |
| 4. 所 有 者 | きたみらい農業協同組合 |
| 5. 指定年月日 | 昭和 60 年 10 月 1 日 |
| 6. 指 定 者 | 訓子府町教育委員会 |

6

カシワ

- | | |
|-----------|---|
| 1. 樹種名・本数 | カシワ・2本 |
| 2. 指定理由など | 胸高直径 60 センチメートル以上あり、樹齢百数十年以上と思われる 2 本の原生木が庭内に存する。カシワは、ウイスキー樽の材料として用いられたりする。 |
| 3. 位 置 | 訓子府町字北栄 144 番地 |
| 4. 所 有 者 | 個人 |
| 5. 指定年月日 | 昭和 60 年 10 月 1 日 |
| 6. 指 定 者 | 訓子府町教育委員会 |

7 ブナ

1. 樹種名・本数	ブナ・2本
2. 指定理由など	昭和 12、13 年頃、山川芳春氏の父親が郷里山形県から持って来た苗を植栽したもの。ブナは、寿都町と長万部町を結ぶ黒松内低地帯が分布の北限といわれており、当地方では見ることのできない珍しい樹木である。陰樹で生長が遅く緻密で曲げやすいことから、家具、建築材として用いられる。
3. 位 置	訓子府町字協成 142 番地
4. 所 有 者	個人
5. 指定年月日	昭和 62年 10月 1日
6. 指 定 者	訓子府町教育委員会

8 カシワ

1. 樹種名・本数	カシワ・2本
2. 指定理由など	胸高直径約 50・60 センチメートル以上あり、樹齢およそ百年・百数十年以上と思われる 2 本の原生木が庭内に存する。カシワは陽樹で、適当に湿った肥沃地に群生する。
3. 位 置	訓子府町字開盛 35 番地
4. 所 有 者	個人
5. 指定年月日	昭和 62年 10月 1日
6. 指 定 者	訓子府町教育委員会

9 シダレヤナギ

1. 樹種名・本数	シダレヤナギ・1本
2. 指定理由など	昭和 6 年頃、当時の北訓地域の青年団会員であった湊上義雄氏が、自宅にあったシダレヤナギを 現在地に植栽したといわれている。樹齢約 70 年だが、胸高直径 1 メートルにも及ぶ大樹である。シダレヤナギは、中国が原産地といわれ、世界各地で植栽されており、日本では公園、庭、街路樹として用いられることが多い。
3. 位 置	訓子府町字駒里 69 番地
4. 所 有 者	訓子府町
5. 指定年月日	昭和 62年 10月 1日
6. 指 定 者	訓子府町教育委員会

10

カシワ

1. 樹種名・本数	カシワ・1本
2. 指定理由など	胸高直径 80 センチメートル以上あり、樹齢 200 年に及びかと思われる原生木が庭内に存する。町内のカシワの中では、最も太いと思われる。カシワの樹皮は染料として、葉はもちを包んで、かしわもちを作る時に利用されたりする。
3. 位 置	訓子府町字駒里 184 番地 7
4. 所 有 者	ホクレン訓子府実証農場
5. 指定年月日	昭和 62 年 10 月 1 日
6. 指 定 者	訓子府町教育委員会

11

クリ

1. 樹種名・本数	クリ・4本
2. 指定理由など	大正末期から昭和初期にかけ、大場巽氏の祖父によってナシ、アンズ、ブドウ、リンゴなどが植栽された。同時期、クリの苗木を湧別から持って来て植栽されたもので、現在では 2 世のクリも大きく育っている。クリは、耐朽力が強く、水湿に耐えることから建築、土木用、船舶材などに用いられる。
3. 位 置	訓子府町字弥生 271 番地
4. 所 有 者	個人
5. 指定年月日	昭和 62 年 10 月 1 日
6. 指 定 者	訓子府町教育委員会

12

キタコブシ

1. 樹種名・本数	キタコブシ・1本
2. 指定理由など	昭和 5 年に説教所を現在地に移転した時、既に存していた原生木である。地上でフクジュソウなどが春を告げる頃、樹上では、キタコブシの白い花が咲き誇り見事である。北海道、本州中部以北に分布し適当に湿った日当たりがよい地によく育つ。材質は軽くてやわらかいことから、床柱、彫刻材などに用いられる。
3. 位 置	訓子府町東町 36 番地
4. 所 有 者	常照寺
5. 指定年月日	昭和 62 年 10 月 1 日
6. 指 定 者	訓子府町教育委員会

13

アカマツ

1. 樹種名・本数	アカマツ・1本
2. 指定理由など	市街地区にある大樹として親しまれ、古くは町長公宅が近くにあったことや現在の図書館建設前に植樹されたものであり、長くまちの歴史を見守ってきた樹木である。
3. 位 置	訓子府町仲町 42 番地
4. 所 有 者	訓子府町
5. 指定年月日	平成 28 年 4 月 1 日
6. 指 定 者	訓子府町教育委員会